

住友電気工業 経理部所属の北川 理沙子です。コロナ第一波の2020年に入社し、3年目になりました。就活生に向けて、エールを送りたいという思いから今回執筆することにいたしました。仕事のこと、就職活動のことなど幅広くお伝えしたいと思います。

(i) 仕事内容

私は最近脚光を浴びている電力ケーブルの工場経理を担当しています。世界的に洋上風力発電をはじめとした再生エネルギー投資が進んでおり、当社の電力ケーブルの需要も高まる傾向があります。日常業務の中で、海外大型案件の名前が飛び交っていることが多く、日ごろから世界的な再エネ投資の動きを感じます。

私が行っている工場経理としての業務は、主に3つあります。①電力ケーブルの財務会計と管理会計処理、決算書の作成 ②税務対応 ③海外子会社のサポートを行っています。入社前には、漠然と「経理=ひたすらパソコンに数字を打ち続ける」というイメージがありましたが、これ以外にも数字のプロとして決算データを分析し、工場の方へ改善事項を提案し、部署を跨いだ改善活動の推進にも携わっています。取り組み例としては、昨今注目を浴びているROIC改善活動です。会社の資産効率を高めるために、経理による第三者視点を生かした棚卸資産の管理体制強化を促しています。実際に工場に足を運び、工場内の資産管理方法や棚卸資産の数を確認しており、事務系であっても工場長や製造ラインの社員など、様々なバックグラウンドの方々とは仕事できるという点が非常に面白く、良い意味でのギャップでした。実際に製造部へ赴いて事実確認を行い、部署を超えて一緒に改善策を検討していく活動を通して、「現場ファースト」の視点を持つことの大切さを学びました。どんな職種にも共通するかと思いますが、自らの付加価値を意識し、積極的に業務に取り組む姿勢を持つことが大切だと思います。

(ii) 就職活動

これから就職活動を行う方へのアドバイスは3つあります。

1つ目は、ぜひ興味のあるインターンや説明会にたくさん参加して、多くの社会人に会ってほしいです。もちろん「就職活動=内定を取る」が一つのゴールになりますが、就職活動を通して、業界毎のビジネス形態、働く人たちの仕事内容や想いを学べる機会は大変貴重です。

社会人になると自社ビジネスに関する仕事が増え、視野が狭くなりがちですが、就職活動での学びは、今後の長い社会人生活の中で、広い視野でビジネスを考える糧となります。企業イベントに参加する際は、事前に業界や企業、職種に対する情報収集や質問事項の整理を行うことで、最大限学びを吸収する姿勢を持つことを心掛けてもらえたらと思います。

2つ目は、インターンや説明会に参加して自分はどう感じたか、どんな仕事をしてみたいか等、逐一アウトプットする習慣をつけることです。就活ノートを作成したり、六甲台就職相談センターや先輩、友人などに相談する等、自身の考えを言語化することで、興味のある業界や仕事が浮き彫りになってきます。

3つ目は、上記のインプットとアウトプットを繰り返して、業界や企業、職種を絞っていくことです。この際、「就活の軸」だけではなく、ビジネスや仕事に対する「ワクワク感」も大切にしてほしいです。仕事をする上で、多かれ少なかれ大変な場面は訪れます。試練に直面した際でも、自身の関わるビジネスが面白いと思う気持ちは、仕事に対するモチベーションに繋がります。

(iii) さいごに

これから就職活動をする方は、悩むこともたくさんあると思います。悩みは一人で抱え込まず、六甲台就職相談センターを利用したり、先輩、友人にアドバイスを求める等、第3者の意見を取り入れることを大切にしながら、就職活動に取り組んでいただきたいと思います。初めての就職活動で緊張したり、不安になる場面もたくさんあるかと思いますが、楽しむ気持ちを忘れずに。今後の皆様のご活躍を祈念いたします。